

今月のおススメ絵本 11月号

～乳児向け・・・～いもほりバス～

(鈴木出版:作者: 藤本 ともひこ)

★あらすじ★

この絵本のテーマのひとつはふれあいです。「つんつん」しあうと、くすぐったいですよね。バスも「つんつん」されてくすぐたくなったらなんと！！鼻のあたりからドリルが出てきました。後半、掘ったおいもが飛んでいって、火山にくるくるすぽん！！ところがどっこい、おいもが焼き芋になって出てきました。とってもユニークな絵本です🍷

～幼児向け どんぐりにんじゃ～

(鈴木出版 :作者:浅沼 とおる)

★あらすじ★

どんぐり帽子(傘!?)に、どんぐりボディーの「どんぐりにんじゃ」。「しろいぬじょう」の殿様から指令を受けて「ひげねこじょう」の悪だくみをあばくため出動します。「にんぼう、はやがけの術でござる」スタタノター。高い城壁もなんのその、素晴らしい身軽さで、あっという間に城へ侵入成功。しかし、葉隠れの術で隠れていたどんぐり忍者は、すぐに見破られてしまいました。とびきりチャーミングなニューヒーローの活躍が見どころです。

🍄こうしたらうまくいくかも part 8🍄

【絵本を読まずに、舐めたり破いたりしちゃう時には】

まだまだ遊び方や、おもちゃの使い方がわからない年齢です。

興味のない子にとっては、絵本もぬいぐるみもパズルもみんな同じ“おもちゃ”
絵本は大切に読むものなんだという区別は難しいのかもしれないね。

🗣️こうしてみたら！！

好きな動物や乗り物、食べ物などの絵本から、物の名前や色、形に触れ、知らなかったものも知識として覚えていきます。興味のある1冊をみつけ、1対1でゆっくり読んであげ、絵本の楽しさや興味を広げることで、大切な宝物になるかもしれません。「破いちゃダメ！！しまっちゃうよ」と叱ったりして、手の届かない場所に片づけてしまうと、絵本への興味を広がらなくなるかも知れません🍄